

恩智川（法善寺）多目的遊水地上面整備基本計画（素案）についてのパブリックコメント実施結果

（1）募集期間 令和5年5月25日（木）～6月20日（火）

（2）意見の提出者

①受付区分

郵送	FAX	電子メール	直接提出	合計
0人	0人	2人	0人	2人

②居住区分

柏原地区	堅下地区	堅上地区	国分地区	合計
1人	1人	0人	0人	2人

（3）市民意見の内容と市の考え方

次ページ「恩智川（法善寺）多目的遊水地上面整備基本計画（素案）についての市民意見と市の考え方」参照

恩智川（法善寺）多目的遊水地上面整備基本計画（素案）についての市民意見と市の考え方（2名から意見数5件）

整理番号	市民意見	市の考え方
1	<p>P8の使い方を固定した整備は行わず暫定利用を前提にした「多目的空間」の考え方は賛成。</p> <p>しかし、</p> <p>1 「ソフトな取組を充実」とは、何か。「充実」させるための行政施策をするのか、ハード整備と並行して「ソフト充実」策を考えるべきではないのか？</p> <p>2 使いながら「利用ニーズに合わせた広場」づくりという点では、運営の仕組み案も並行して提示すべき。とりわけ「多目的広場」であり、従来のスポーツ施設の管理とは異なる多面的な広場運営システムが必要ではないのか？</p> <p>3 図の中での「こども広場」「芝生・多目的広場」については、利用者の中心となる子どもに焦点を置いたニーズ調査が必要であるが、単に市民アンケートに留まらず「子どもワークショップ」など子どもたちの多面的なニーズ把握を行う機会・手法が求められる（註）が、その実施の用意があるのか？</p> <p>（註）参考土木学会論文集F4(建設マネジメント), Vol. 67, No. 4, I_349-I_356, 2011. 子どもを対象とした住民参加による公園づくりの事例報告-品川区立鮫洲運動公園を例として-</p>	<p>各ご意見ありがとうございます。</p> <p>1 「ソフトな取組を充実」とは、多目的広場を公園として利用する以外に、市の各部署で行われている様々な事業や地元・民間と協力して当該施設を活用することです。また、ハード整備とソフトの充実策につきましては、並行して検討してまいります。</p> <p>2 他自治体等における事例等を研究しながら、運営の仕組み及び多面的な広場運営システムの構築について検討してまいります。</p> <p>3 子どもたちの多面的なニーズを把握することについて検討してまいります。</p>
2	<p>遊水地計画は30年以上前に当時の市長から伺いました。30年というのは当時のそれぞれの世代にとって、関係ないものになってしまう年月です。それでもやっと完成しつつあるので、より良く運営されますよう、また活用してみたいと思うようになり、パブリックコメントに参加いたします。</p> <p>（別添2）キーワード①②③は大変良いと思いますが、提案があります。</p> <p>・恩智川の源流は柏原市民の生活排水と聞かされて、生活排水対策推進員の皆さんと活動したことがあります。今では下水道が完備され、川に流れ込むのはほとんどが雨水。ですが、「恩智川クリーンUP」や「米のとぎ汁EM発酵液の投入」など目立たない努力が続けられています。生涯教育といっても範囲が広く漠然としていますので、「遊水地の役割」「上流地域の役割」「流域市との交流」を中心に特徴あるものになるといいと思います。（国分地区方面の児童の社会見学を含む）</p> <p>・介護予防の観点から、とありますが、ある程度健康な方に限られたイメージです。年齢に関係なく体、目、耳が不自由な方へも、安全安心な緑あふれる場所の共有は大事なことだと考えます。散歩・ジョギングコースの工夫、介助員ボランティアの充実など市民の力を借り、流域市との協力など、課題の中に入れていただければと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。ご提案いただいた内容に基づき、以下のとおり追記いたしました。</p> <p>・別添2「上位・関連計画の把握」に</p> <p>1 「上位計画」に「淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画（大阪府）」とその内容を追記</p> <p>2 「関連計画」に「柏原市バリアフリー基本構想」とその内容を追記</p> <p>3 キーワード②「地域づくり・まちづくり」に「人と川の関係の回復及び生態系への配慮」を追記</p> <p>4 キーワード④「誰もが安全・安心・快適に活動できるまちづくり」を追記</p>